

スコアボード

9月3日
区選抜少女シールド杯 決勝 ニッパツ
国際チビッ子サッカー大会開幕 市内各所

9月30日
スーパーキッズ大会 しんよこFP

10月28, 29日
日朝親善サッカー大会 ニッパツ三ツ沢



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
編集 同 広報委員会
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-3
DSM新横浜7F
TEL (045) 474-4315 FAX 474-4316
http://www.yokohama-fa.or.jp
印刷 神奈川新聞社
〒231-8445 横浜市中区
太田町2-23
TEL 227-0739 FAX 227-0785

第50回横浜市春季少年サッカー大会

優勝

U12
バディーSC

U10
マリノスPr

U8
FUTURO

少女の部
緑ピクシーズ

第50回記念大会は、コロナウィルス感染も落ち着き例年通りのブロック分け抽選を行い市内各会場にて予選リーグが行われた。U8、U10は各ブロック2位までが決勝トーナメント戦に出場。U12は各ブロック1位が決勝トーナメント戦に出場した。また、今年度より始まった県TOPリーグ

グ(昨年度の県選手権大会の成績による)に参戦チームも春季少年サッカー大会の決勝トーナメント戦に出場が認められた。

少女の部は参加11チーム2ブロックに分かれて市内各会場にて予選リーグを行い各ブロック上位2チームが決勝トーナメント戦へ進む大会方式、U12・U10はトーナメント6位までが神奈川県チャンピオンシップに出場権が与え



U-10 優勝 横浜F・マリノスプライマリー ©FANTASISTA



U-12 優勝 バディーSC ©FANTASISTA



少女の部 優勝 緑ピクシーズ ©FANTASISTA



U-8 優勝 JFC FUTURO ©FANTASISTA

られ、U12は県チャンピオンシップ3位までは関東大会出場に推薦される。

大会結果

【少女の部】

緑ピク 2-0 SH
シーズ 2-0 ガールズ
3位決定戦 横浜ジュニア
金沢ガールズ 1-0 オールSC
ルズ

【U8】

JFC F バディー
UTURO 0-0 SC
延長0-0 (PK戦3-2)
3位決定戦 横浜すみ
横浜すみ 1-0 あざみ野
れSC FC

【U10】

横浜F・マリノスPr JFC F
UTURO 1-0 UTURO
3位決定戦
バディー 2-0 大尾FC
SC

【チャンピオンシップ出場権】

あざみ野FC(A) 大豆戸FC
【U12】
バディー 1-1 SCH.
SC FC
延長1-0
3位決定戦
あざみ野 1-0 横浜F・マリノスPr
FC(A) リノスPr

【チャンピオンシップ出場権】

原FC JFC FUTURO

第43回神奈川県

チャンピオンシップ大会
関東大会出場
【U12】
優勝 川崎フロンターレU12
準優勝 JFC FUTURO

2023年度

定時総会開く
(一社)横浜サッカー協会は、6月22日(土)にかながわ県民センターにおいて2023年度定時総会を開いた。同総会は、議長に内田会長を選出後①2022年度事業報告

られ、U12は県チャンピオンシップ3位までは関東大会出場に推薦される。

3位 SCH・FC
優勝 JFC FUTURO
準優勝 バディーSC
3位 横浜F・マリノスPr
3位 FCヴェインクロー
(租模原)

【U10】

3位 SCH・FC
優勝 JFC FUTURO
準優勝 バディーSC
3位 横浜F・マリノスPr
3位 FCヴェインクロー
(租模原)

【U8】

横浜すみ 1-0 あざみ野
れSC FC

【U12】

バディー 1-1 SCH.
SC FC
延長1-0
3位決定戦
あざみ野 1-0 横浜F・マリノスPr
FC(A) リノスPr

【チャンピオンシップ出場権】

あざみ野FC(A) 大豆戸FC
【U12】
バディー 1-1 SCH.
SC FC
延長1-0
3位決定戦
あざみ野 1-0 横浜F・マリノスPr
FC(A) リノスPr

【チャンピオンシップ出場権】

原FC JFC FUTURO

第43回神奈川県

チャンピオンシップ大会
関東大会出場
【U12】
優勝 川崎フロンターレU12
準優勝 JFC FUTURO

2023年度

定時総会開く
(一社)横浜サッカー協会は、6月22日(土)にかながわ県民センターにおいて2023年度定時総会を開いた。同総会は、議長に内田会長を選出後①2022年度事業報告

られ、U12は県チャンピオンシップ3位までは関東大会出場に推薦される。

試合中のミスにははげましの声掛けをしました。その後も仲間がチャレンジしている事に集中して取り組んで欲しい。苦しい時でも最後まで冷静にあきらめず攻撃的で面白いサッカーができるようにこれからも努力していきたいと思えます。

チームを盛り上げる

緑ピクシーズ 阿部 紀葉

私が印象に残ったことは、決勝戦でゴールを決めたことです。仲間からパスをもらったときにすぐにシュートを打とうと思ったけど相手がいいたのでかわしてシュートを判断しました。キャプテンとして心掛けたことは二つあります。一つ目は、緑ピクシーズを引っ張る声でチームを盛り上げたことです。二つ目は、仲間が良いパスを出したり、良いパスを出して、ミスをしてしまってもゴールをとれなくとも「ドンマイ、きり替えて」などの言葉を言うことを心掛けた。優勝のよさを感じました。優勝のよさを感じたのは、去年は負けちゃったけど、今年は優勝できたのでうれしかったです。

ハーフタイム

優勝チームは次のとおり。
1A: JFC FUTURO、1B: 藤の木SC、1C: かながわクラブ、1D: かながわクラシコ
2A: LOTRS YOKO、HAMMA、2B: SC EST、RELLAA、2C: FC Cu、riolaso
3A: Yokohama Punte、3B: バンデリージャ、横浜、3C: WINCHES、TERFC、3D: LUMI、EREAOBA

5月13日(土)に市内各会場で行われた2023年度社会人委員会総会が行われ、例年通り昨年度リーグ優勝チームの表彰、今年度の幹事決りが行われた。

今年度は、1部リーグのチームで登録やリーグ参加をしないチームが例年以上にあり1部が初めて3ブロックになった。

リーグ優勝を表彰
社会人委員会総会

先日マリノスのスタッフが港北消防署から人命救助で表彰された。マリノス主催のイベントに参加していた男性が突如倒れ心肺停止となり、119番通報し、心臓マッサージを施し、施設内のAEDを使い意識を回復させ、救急隊に引き継いだ。迅速な対応で尊厳が守られた。素晴らしい行動力を見習いたい。きっと、天国からも大きな声がかかるのだと思う。この時期になるとどうしても思い出してしまう。ミスターマリノス松田直樹選手が突然旅立ってしまったことを。もし、AEDがあったらと思った人は多いと思うけど、それは誰にも分らない。でもそれを降ろしているところにAEDが設置された。市内のグラウンドにも設置され、試合に行ったときに目にした方も多くいる。実際に、目の前でも人が倒れてちゃんと使えるのかと思う。でも、今のAEDは装着したから、電気ショックが必要か必要でないかを判断してくれて、必要ないときは作動しないらしい。使うことがないのが一番だが、万一の時には勇気をもって使えるようにしたい。それが松田選手への供養になるのではないかな。(一)

横浜で4年ぶりの開催 日韓ジュニア サッカー大会

横浜市・仁川広域市国際交流事業2023日韓親善ジュニアサッカー大会が7月28日から31日の四日間、横浜市で開催された。

日韓親善ジュニアサッカー大会は、2002 FIFA ワールドカップの日韓共同開催決定を機に1999年から始まった交流事業。両市で隔年ごとに開催、今年で25年目となる。

同大会は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響から2019年の仁川広域市で開催された大会以降中止されており、四年ぶりの開催となった。

同大会の歩みをみると、横浜市は1999年12月23日に



大会前日に開かれたレセプション



試合前に横断幕を掲げて記念写真



開会式



試合開始前のペナント交換

心に残る大会に!!

仁川広域市から萬寿北初級学校サッカーチームを招き2002 FIFA ワールドカップ決勝戦の会場となる横浜国際総合競技場で開催した。また2001年8月3日、仁川広域市から小学生チームと在日韓国人チームを招き、2002 FIFA ワールドカップの

300日前記念事業として「横浜国際親善日韓少年サッカー大会」と銘打って開催している。この年は、7月頃から教科書問題を背景に日韓交流事業の開催が危うくなりかけていたが、仁川市長の特別な計らいで実現されたという経緯も

あった。この交流事業では横浜市の選抜チームの家庭が仁川市の子どもたちをホームステイで暖かく迎え、友情を育んだこともある。4年ぶりの開催となったが、25年にわたる日韓ジュニアサッカー大会は、多くの少年サッカーマンたちに、心に残る思い出深い

試合を観戦した。

事業となっているものといえる。日韓親善ジュニアサッカー大会は、7月28日に仁川選手団(役員、監督・コーチ9名、選手14名)が来浜、18時から新横浜のホテルで横浜選手団(二選抜チーム)らを交えて歓迎レセプションが行われた。大会は、29日がニッパツ三



健闘する日韓ジュニア選手(上・下)

試合結果	
〔一日目〕	
横浜選抜A	3-0 仁川広域市
横浜選抜A	7-0 横浜選抜B
横浜選抜B	0-5 仁川広域市
〔二日目〕	
横浜選抜B	1-3 仁川広域市
横浜選抜A	2-1 横浜選抜B
横浜選抜A	1-1 仁川広域市

栄区選抜が優勝

第26回横浜市区選抜大会(マリノス杯)

第26回横浜市区選抜少年サッカー大会(横浜F・マリノス杯)は、4月1日より予

選リーグが始まり、4月9日の決勝戦で幕を閉じた。市内18区から選抜された区

代表チームによるサッカー大会、サッカーを通じて心身の健全を目的とし、サッカーのレベルアップを目指す。



大会は、3チーム6ブロックに分けて予選リーグが市内各会場にて行われた。各ブロック1位チームと全6ブロック2位の上位チーム(勝点・得失点差・得点

抽選の順で決定)が決勝トーナメント戦に進出。トーナメント戦はどの試合も見ごたえのある好ゲーム、毎年レベルが上がっているように思われる。平戸永谷グラウンドで行われた準決勝では2試合ともにPK戦にもつれ込む好ゲーム。PK戦を制した栄区選抜と旭区選抜が決勝戦に駒を進めた。三位決定戦、決勝戦は長浜公園グラウンドに会場を移して行われた。

〔決勝戦〕

栄区選抜 5-1 旭区選抜

〔3位決定戦〕

戸塚区選抜 4-1 都筑区選抜

〔大会結果〕

優勝 栄区選抜

準優勝 旭区選抜

3位 戸塚区選抜

4位 都筑区選抜

日程であったため残念ながら一部の試合が抽選となった。

優勝 SCH.F.C
準優勝 エスペランサ

SCH.F.Cが優勝

第58回市長旗ジュニア大会



令和5年度第58回横浜市長旗ジュニアサッカー大会は、SCH.F.C対エスペランサのクラブチーム同士の決勝戦となり熱戦の末、4対0でSCH.F.Cがエスペランサを下し優勝した。

同大会は、新年度早々に始

自分たちのサッカーを

SCH.F.C 佐藤 悠一

優勝する事はとても重要だとチーム全員で共有し、優勝への強い気持ちを持ち臨んでいました。

1試合1試合、誰が出場してもプレーの質を下げる事なく、自分たちのフットボールを表現出来るようにと意識した大会でした。

優勝出来てとても嬉しいですが、しかし、もっと自分たちの力を発揮出来た場面があったのではないかと感じています。今後、個の能力を向上させ、チーム全体が更に質の高いプレーを出れるよう精進していきたいと思っています。

最後に、審判団運営頂いた関係者の皆様へ応援して頂いた保護者の皆様へ感謝致します。ありがとうございます!!

楽しく、技術向上へ

スーパークイズ サッカー大会

YFAスーパークイズサッカーフェスティバルGOAL46は、6月24日しんよこフットボールパークで行われた。梅雨の中休みの暑い中、加盟団体及び幼児が元気いっぱい、ボールを追いかけてゲームを楽しんでいた。



法人会員一覧

- | | |
|-----------|---------------|
| 横浜マリノス(株) | (株) 横浜シミズ |
| 神奈川新聞社 | JFE東日本ジーエス(株) |
| 横浜食品開発(株) | (株) 横浜アーチスト |
| | (有) フリースタイル |